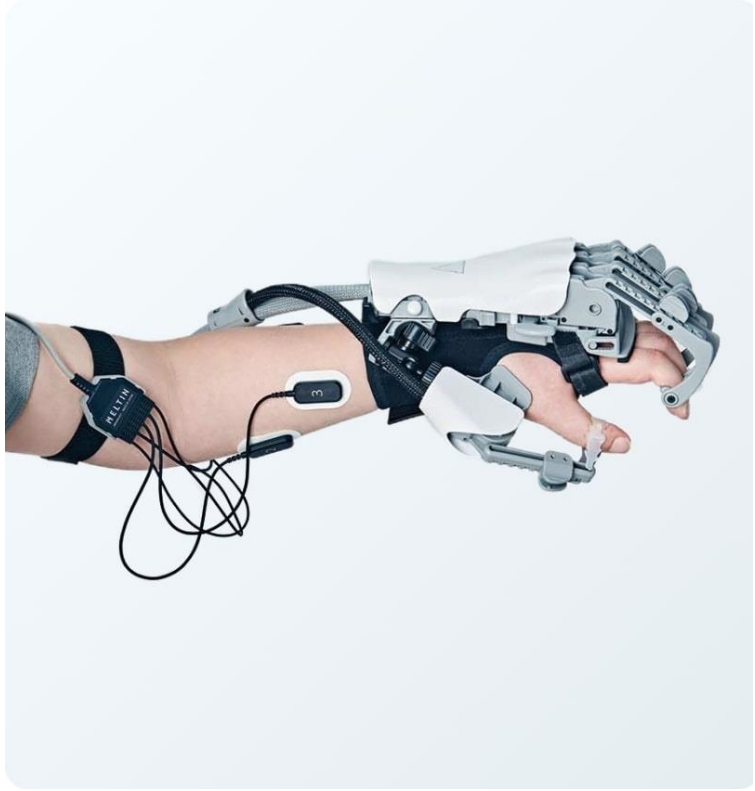
ロボット
IT技術
リハ先進機器

2026年度　新規導入製品

MELTz



MELTzは脳卒中などによる手指の運動麻痺に対し、
独自のアルゴリズムを搭載したAIにより、
前腕の筋肉の電気信号を総合的に分析。
患者さんが行おうとしている手の動きを識別し、
ロボットのアシストによって、同じ動作を何度も正確に
再現することで、より多くのリハビリテーション機会を
提供できます。運動意図に併せた動作補助を
行うことによって、運動を司る脳神経系の再学習を
目指します。

歩行および
バランス訓練関連

J-style AM800N

リハビリ患者さまや高齢者に多い、小股でゆっくりとした歩き方やすり足などの不規則な歩行を計測できる歩数計です。

テレさんぽ

各地の美しい風景や町並みを眺め、旅行気分を味わいながら楽しく足踏み運動ができるサービスです。

ウェルウォーク2000

歩行機能の再建を目的にしたロボットです。重症な方から軽度な麻痺の方まで対応可能です。

パスリーダー

抹消神経に磁気刺激を与え、筋の収縮を誘発する医療機器です。電気刺激と比べて痛みや不快感を感じにくい状態で治療できます。

モリトー懸架装置

免荷機能を使用することで早期からの歩行練習が実現可能。専用ハーネスを装着し、転倒を防ぎます。

G-TES

ベルト電極により、広範囲の筋肉を動かし、目的に応じて筋力トレーニングや有酸素運動を行います。

POPO

体重を免荷しながら使用できる歩行器です。免荷の自然な歩行ができ、転倒リスクを軽減します。

L300Go®

尖足・下垂足や、膝部不安定な患者に対し、移動能力の向上をもたらす機能的電気刺激装置（FES）システムです。

上肢訓練関連

IVES

中枢神経障害による麻痺や筋力低下に対し、筋収縮をアシストし筋肉の再教育の促進などに繋げれる機器です。

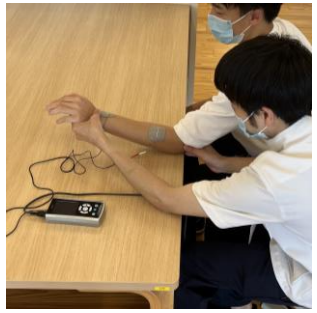
WILMO

IVESと同様、中枢神経障害による麻痺に対し、電気による神経促通刺激を与え、運動学習が期待できます。

ESPURGE

３つの電気刺激モードで症状に合わせて鎮痛から治療の促進まで幅広く対応した機器です。

NM-F1

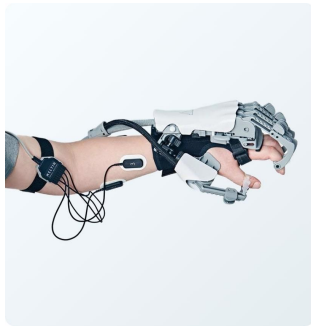


中枢神経障害による麻痺に対し、筋肉の再教育の促進などを目的として活用しています。

cocoroe

上肢の自動運動や反復訓練を行うための機器です。

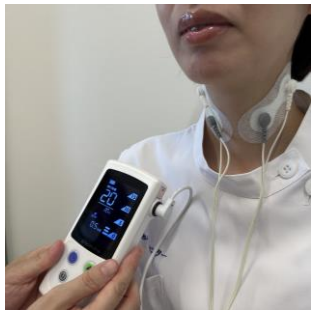
MELTz



手指の運動麻痺に対し、独自のアルゴリズムを搭載したAIにより、前腕の筋肉の電気信号を総合的に分析できます。

嚥下訓練関連

ジェントルスティム



摂食・嚥下機能を支援する機器です。痛みの少ない干渉波刺激を利用するため治療時の不快感を軽減します。

パスリーダー

摂食・嚥下機能に必要な筋群に磁気刺激を入力可能です。痛みや不快感を感じにくい状態で使用できます。

スワローチェアー

摂食・嚥下評価および練習用の車椅子です。嚥下訓練に必要な姿勢調整が行えます。

嚥下運動モニタ B4S

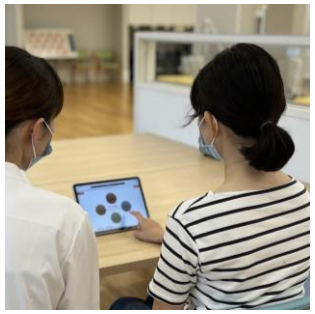
嚥下中の咽頭の動きを可視化する機器です。タブレットに波形を表示し、嚥下回数や嚥下タイミングの計測が可能です。

認知機能関連

VR

半側空間無視症状に対して使用する評価・治療機器です。VR技術を用いて、遠位・近位を含めた三次元的評価を実現します。

CogEvo



認知機能のチェックとトレーニングが可能です。認知機能の変化を早期にチェックできます。

その他

自動車シミュレータ

時間、天候別の運転環境とリアルな人や車の動きを再現し、交通安全トレーニングを行うことができます。

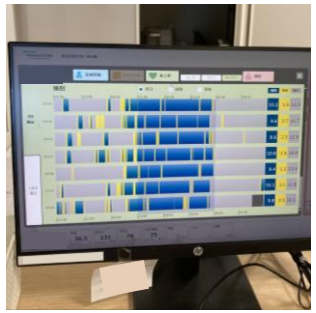
パワープレート

高速振動であらゆる方向から全身の細胞に負荷をかけ、短時間で効率的なエクセサイズを行うことが可能です。

シグマックス

歩行を模した自然な動きに近い振動で全身のトレーニングが可能です。

眠りスキャン



呼吸数や脈拍数、睡眠状態、離床動作などを遠隔でもリアルタイムで把握することができるセンサーです。

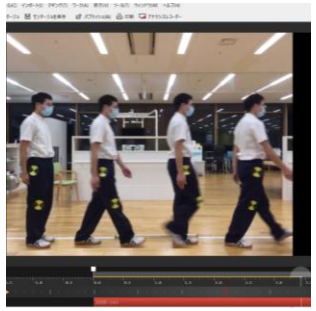
スーパーライザー

血管の拡張や神経興奮性の抑制などに関与し、鎮痛・消炎、創傷治癒に効果があります。

ころやわ

歩行安定性と衝撃吸収性の両立を実現した床です。転倒による骨折のリスクを軽減します。

ダートフィッシュ



動作分析に必要な距離、角度、時間、スピードなどのツールを豊富に搭載。治療に活用しています。

タッチフットデュオ

歩行・姿勢保持など日常生活に必要な筋力の維持・向上を目的とした電動式トレーニングマシンです。